

登録有形文化財の立地する沿道街路景観評価に関する調査・分析

—関東地方に立地する建築面積 500 m²以上の登録有形文化財を対象として—

日大生産工（院） ○田中 康雄

日大生産工 坪井 善道

1. はじめに

1996 年（平成 8 年）に保存及び活用についての措置が特に必要とされる文化財建造物を，文部大臣が文化財登録原簿に登録する文化財登録制度が導入された。

文化財登録制度が導入されて 8 年，その登録数は，平成 16 年 8 月現在で 1798 箇所，4255 件の登録がなされており，年々増加する傾向にあり，歴史的建造物の保存・再生への関心はさらに高まってきていることが窺える。

文化財登録制度の指定理由には，国土の歴史的景観に寄与しているもの 造形の規範となっているもの 再現することが容易でないもの¹⁾といった指定理由があり，単体規制だけではない地域地区の景観への配慮を考慮した登録制度であるといえる。

2. 研究の目的

本研究では，登録有形文化財が現在，存在している都市内地区の現状を把握し，どのような立地環境に存在しているのかを明らかにしていくことで，単体規制による保存・再生利用手法だけではなく，登録有形文化財が存在する地区環境と一体的な保存・再生利用手法について検討することを目的としている。

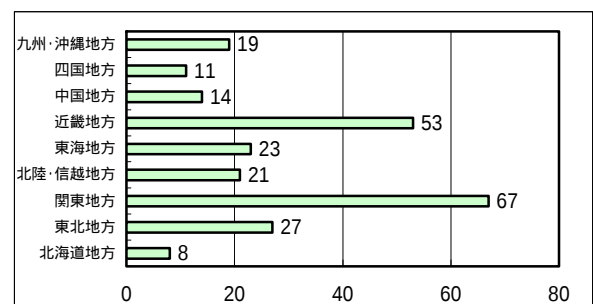
本稿では，特に建築面積 500 m²以上の登録有形文化財が，街路景観にどのように関わっているのかを考察することを目的としている。

3. 調査対象サンプル

平成 15 年 3 月現在で登録されている全国の登録有形文化財 3292 件²⁾から土木構築物（橋，トンネル，ダム，像など），及び主要な建築物に付随するもの（門，塀，石段，稻荷神社など）を除いたものの中から，建築面積 500 m²以上の建造物，243 件を調査対象サンプルとし，243 件を地方別に分類した結果，関東地方が 67 件と最も多く，次いで近畿地方の 53 件，東北地方の 27 件となった（図—1）。

本稿では，多くの大規模登録有形文化財が存在している関東地方の調査対象サンプルの中から建築面積上位 20 件を分析対象サンプルとして選出した（表—1）。

各分析対象サンプルの分布状況は図のようになっている，ほぼ関東全域に分散している傾向にある（図—2）。



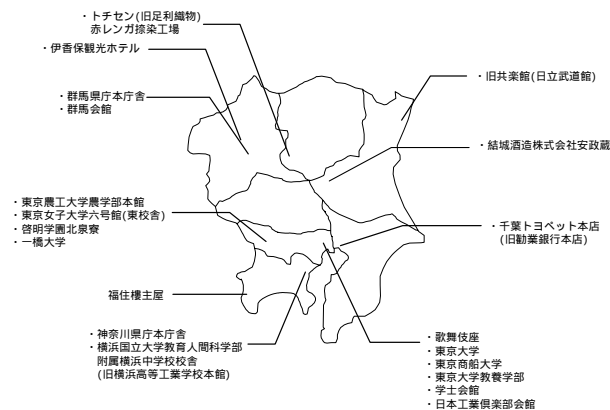
図—1 地方別大規模登録有形文化財の分布

Survey and Analysis on the Evaluation of Streetscape Including Registered Cultural Properties

—On the Registered Cultural Properties above 500 m² of The Building Area

Located in the Kanto Area—

Yasuo TANAKA, Yoshimichi TSUBOI



図—2 分析対象サンプルの分布状況

4．評価実験（SD 法）

4 - 1 評価方法

評価実験は、データサンプルの登録有形文化財が立地する沿道を、データサンプルを中心に 150m づつ、(既往研究から街路景観評価における被験者の識別距離として 150m 位と推定する。) ³⁾ 合計 300m に区切り、両端 150m の地点からの静止画、実際に沿道を歩行している歩行者からの沿道街路への視線に配慮した状態で、通りを両方向から撮影した動画の両方を用いて行った。評定尺度は、被験者の属性に左右されない形容詞対を用い、28 尺度 (表—2) を採用し、7 段階評定による評定

表—1 分析対象サンプルの現状

NO.	データ番号	名称	所在地	面積	用途地域	その他の指定	指定理由
	M1, M2, P1, P2	歌舞伎座	中央区銀座4-12-15	3787	商業地域	街並み誘導地区	
	M3, M4, P3, P4	東京大学 東京大学大講堂(安田講堂) 東京大学工学部1号館 東京大学法文1、2、3号館 東京大学工学部列品館	文京区本郷7-3-1	3435 3263 2695 1818 1727	第1種中高層住居専用地域		
	M5, M6, P5, P6	神奈川県庁本庁舎	横浜市中区日本大通り1	3070	商業地域	街づくり協議地区	
	M7, M8, P7, P8	東京農工大学農学部本館	府中市幸町3-5-8	2896	第1種中高層住居専用地域		
	M9, M10, P9, P10	東京大学教養学部旧第一高等学校本館(時計台)	目黒区駒場3-8	2464	第1種中高層住居専用地域		
	M11, M12, P11, P12	東京商船大学 東京商船大学1.2号館	東京都江東区越中島2-1-6	2269 1769	第1種住居地域		
	M13, M14, P13, P14	福住樓主屋	足柄下郡箱根町湯本613	2133	商業地域		
	M15, M16, P15, P16	群馬県庁本庁舎	前橋市大手町1-1-1	2019	商業地域		
	M17, M18, P17, P18	日本工業倶楽部会館	千代田区丸の内1-4-6	1890	商業地域	千代田区美観地区ガイドプラン対象区域	
	M19, M20, P19, P20	伊香保観光ホテル	伊香保町大字伊香保550-1	1874	商業地域		
	M21, M22, P21, P22	学士会館	千代田区神田錦町3-28	1839	商業地域		
	M23, M24, P23, P24	横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校校舎(旧横浜高等工業学校本館)	横浜市南区大岡2-31-3	1800	第1種住居地域		
	M25, M26, P25, P26	一橋大学 一橋大学東本館 一橋大学兼松講堂	国立市中2-1	1711 1471	第1種中高層住居専用地域	国立市都市マスタープラン、国立市みどりの総合計画	
	M27, M28, P27, P28	啓明学園北泉寮	昭島市拝島町5-11-15	1622	第1種低層住居専用地域		
	M29, M30, P29, P30	トチセン(旧足利織物)赤レンガ染染工場	足利市福居町1151-1	1587	準工業地域		
	M31, M32, P31, P32	東京女子大学六号館(東校舎)	杉並区善福寺2-6-1	1453	第1種中高層住居専用地域		
	M33, M34, P33, P34	千葉トヨペット本社(旧勸業銀行本店)	千葉市美浜区稲毛海岸4-5-1	1320	商業地域	千葉市文化財保護条例	
	M35, M36, P35, P36	群馬会館	前橋市大手町2-1-1	1319	商業地域	景観形成モデル地区(予定)	
	M37, M38, P37, P38	旧共楽館(日立武道館)	日立市白銀町2-21-15	1200	第1種住居地域		
	M39, M40, P39, P40	結城酒造株式会社安政蔵	結城市大字結城1589	1191	第1種住居地域		

によるSD法の評価実験を行った(被験者: 本学建築工学科学生 20 名)。

表—2 形容詞対

形容詞番号	プラス側	マイナス側
1	落ち着いた	落ち着いた
2	質のよい	質の悪い
3	連続的な	不連続な
4	親しみやすい	よそよそしい
5	調和にとんだ	不調和な
6	風情のある	風情のない
7	伝統的な	現代的な
8	洗練された	素朴な
9	特徴のある	特徴のない
10	変化にとんだ	単調な
11	密集した	閑散とした
12	新しい	古い
13	開放的な	閉鎖的な
14	軽快な	重厚な
15	緑の多い	緑の少ない
16	雰囲気のある	殺風景な
17	美しい	醜い
18	繊細な	大胆な
19	明るい	暗い
20	好き	嫌い
21	自然的な	人工的な
22	多様な	一様な
23	統一感のとれた	ばらばらな
24	整然とした	雑然とした
25	個性的な	平凡な
26	都市的な	田舎的な
27	活気のある	活気のない
28	印象的な	印象的でない

4 - 2 因子特性の把握

因子分析に取り込む変数を 28 項目にし、因子負荷量を求め、因子寄与率 80% 以上及び固有値 1.00 以上から第 4 因子までの因子軸を解釈した (表—3)。

(静止画を「P」、動画を「M」とする)

第1因子（片側因子）

プラス側に「印象的な」「雰囲気のある」「特徴のある」「好き」「美しい」「個性的な」「質のよい」「風情のある」「繊細な」が関わってくることから「**町並み景観形成評価因子**」と解釈した。

第2因子（片側因子）

プラス側に「新しい」「現代的な」「都市的な」「洗練された」「人工的な」「活気のある」が関わってくることから「**都市的景観評価因子**」と解釈した。

第3因子（片側因子）

プラス側に「軽快な」「開放的な」「明るい」が関わってくることから「**開放性因子**」と解釈した。

第4因子（両側因子）

プラス側に「多様な」「密集した」、またマイナス側に「落ち着きのない」「変化にとんだ」が関わってくることから「**町並みの動的様態に関する評価因子**」と解釈した。

4-3 因子得点から見た因子特性と登録有形文化財の立地する地区との関わり（表—4）

第1因子得点（町並み景観形成評価因子）

町並み景観形成評価を示す形容詞が集まり、その街路の景観を直接評価する因子となった。

評価の高い地区は「群馬県庁本庁舎」「東京大学」「一橋大学」「群馬会館」「神奈川県庁本庁舎」

表-4 因子得点最高値・最低値集計表

	データ番号	サンプル名	最大値	データ番号	サンプル名	最小値
因子№1	M16	群馬県庁本庁舎	2.455464	P30	トチセン(旧足利織物)赤レンガ捺染工場	-2.33658
	M4	東京大学	2.295729	P39	結城酒造株式会社安政蔵	-2.05149
	M26	一橋大学	1.734914	P23	横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校校舎(旧横浜高等工業学校本館)	-2.0426
	M36	群馬会館	1.512646	P32	東京女子大学	-1.68296
	P5	神奈川県庁本庁舎	1.509156	P40	結城酒造株式会社安政蔵	-1.61706
因子№2	P17	日本工業倶楽部会館	2.270307	M13	福住樓主屋	-2.02665
	P18	日本工業倶楽部会館	1.999064	P13	福住樓主屋	-1.9132
	M17	日本工業倶楽部会館	1.950639	M14	福住樓主屋	-1.90544
	M15	群馬県庁本庁舎	1.592362	P14	福住樓主屋	-1.82589
	P21	学士会館	1.578144	M38	旧共栄館(日立武道館)	-1.77242
因子№3	M34	千葉トヨペット本社(旧勤業銀行本店)	1.879419	M29	トチセン(旧足利織物)赤レンガ捺染工場	-3.05063
	M16	群馬県庁本庁舎	1.869894	P17	日本工業倶楽部会館	-2.9724
	P34	千葉トヨペット本社(旧勤業銀行本店)	1.814993	M4	東京大学	-1.82208
	M26	一橋大学	1.721296	M18	日本工業倶楽部会館	-1.59897
	P15	群馬県庁本庁舎	1.717408	P1	歌舞伎座	-1.59524
因子№4	M35	群馬会館	2.463637	P17	日本工業倶楽部会館	-1.75226
	M2	歌舞伎座	2.154695	P18	日本工業倶楽部会館	-1.74816
	M15	群馬県庁本庁舎	1.842204	P25	一橋大学	-1.70185
	M1	歌舞伎座	1.769932	P20	伊香保観光ホテル	-1.63839
	M35	群馬会館	1.681719	M19	伊香保観光ホテル	-1.59098

表—3 因子負荷量及び固有値表

変数名	因子№1	因子№2	因子№3	因子№4
印象的な / 印象的でない	0.91324	0.107345	0.139496	0.169885
特徴のある / 特徴のない	0.877057	0.066193	0.002101	0.212074
雰囲気のある / 殺風景な	0.857627	-0.09998	0.3836	0.06853
好き / 嫌い	0.85151	-0.01964	0.47592	-0.12696
美しい / 醜い	0.847772	0.217825	0.384403	-0.23384
個性的な / 平凡な	0.831364	0.171488	-0.03071	0.358723
調和にとんだ / 不調和な	0.817668	0.042931	0.31753	-0.43243
統一感のとれた / ばらばらな	0.806719	0.091113	0.192628	-0.50462
質のよい / 質の悪い	0.788118	0.374064	0.295315	-0.303
整然とした / 雑然とした	0.77646	0.405705	0.172426	-0.38249
風情のある / 風情のない	0.773134	-0.47819	0.305822	-0.12636
連続的な / 不連続な	0.749706	0.134835	0.068837	-0.54074
緑の多い / 緑の少ない	0.591752	-0.36792	0.495634	-0.20085
繊細な / 大胆な	0.567411	-0.26113	0.552441	-0.21416
新しい / 古い	0.236044	0.932771	0.093186	-0.02025
現代的な / 伝統的な	-0.31095	0.896867	-0.04164	0.038387
都市的な / 田舎的な	0.349213	0.869788	-0.0841	0.188805
洗練された / 素朴な	0.62172	0.728887	-0.03398	0.009509
人工的な / 自然的な	-0.35691	0.696129	-0.41945	0.304367
活気のある / 活気のない	0.569272	0.588038	0.059618	0.459148
軽快な / 重厚な	-0.05437	-0.20967	0.880764	-0.16168
開放的な / 閉鎖的な	0.433563	0.326258	0.748551	0.039363
明るい / 暗い	0.511354	0.28773	0.727337	0.059592
親しみやすい / よそよそしい	0.497096	-0.3269	0.657395	-0.14685
多様な / 一様な	-0.06337	0.031092	-0.07356	0.917956
密集した / 閑散とした	0.153557	0.413698	-0.366	0.482385
落ち着きのある / 落ち着きのない	0.427318	-0.29982	0.328937	-0.59876
単調な / 変化にとんだ	-0.03286	-0.14966	-0.00824	-0.91695
固有値	13.3468	6.406585	2.806929	1.806859
寄与率	47.67%	22.88%	10.02%	6.45%
累積寄与率	47.67%	70.55%	80.57%	87.03%

など面的な計画あるいは景観形成に関わる地区指定等が、行われている地区が町並み景観の評価が高い結果となった（表—1）。

第2因子得点（都市的景観評価因子）

「日本工業倶楽部会館」「群馬県庁本庁舎」「学士会館」など各都市においての中心市街地に存在する地区の値が高い結果となった。そのことから、都市的景観を直接表す因子であることが窺える。

第3因子得点（開放性因子）

「千葉トヨペット本社(旧勤業銀行本店)」「群馬県庁本庁舎」「一橋大学」などは、前面道路が広幅員街路に面しているため、開放性に対する

評価が高い結果となった。

第4因子得点（町並みの動的様態に関する評価因子）

「群馬会館」「歌舞伎座」「群馬県庁本庁舎」など商業地域に存在する地区の街路景観が、町並みの動的様態に関する評価が高い結果となった（表—1）。

4 - 4 分析対象サンプル地区別因子得点の比較

因子得点を散布図に描くことにより、登録有形文化財が立地する地区の特性をみる。

図3を見ると、「結城酒造株式会社安政蔵」「旧共楽館（日立武道館）」「啓明学園北泉寮」は第1因子町並み景観形成評価因子、第2因子都市的景観評価因子の値が共に低いことから、全体的な町並みの評価は低いが、伝統的、田舎的な歴史的あるいは非都市的特性を表す評価は高いことが窺える。

これらの登録有形文化財は、住宅地としての街路景観評価には寄与しておらず、単体建築としての歴史的固有性を有していることが窺える（図—3）。

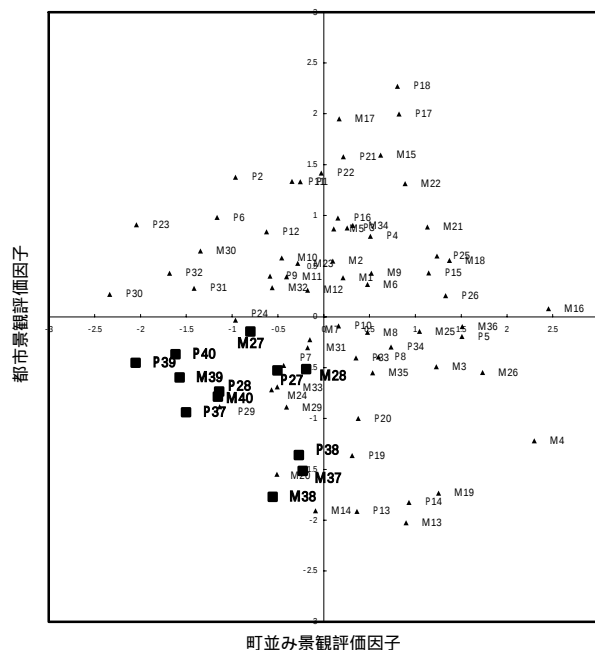


図 - 3 町並み景観評価因子 × 都市景観評価因子

5 . まとめ

住居系用途地域に存在する地区は、町並み景

観形成評価因子の値が低いことから、町並み景観としては評価されていない結果となった。また、住居系用途地域に存在する登録有形文化財は、町並み景観に対して寄与しておらず、単体建築としてだけ歴史的固有性を有しているという結果になった。

一般に敷地単位の個別建築行為により、市街化が行われるため、一体的な町並み景観整備などが行われにくい地域となっている。その結果、登録有形文化財は単体として存在し、町並みへの寄与が低い。一方、現行の建築基準法等に適合していない登録有形文化財を基準に地区環境と一体的に整備を行うことは、現状の制度環境では困難であるといえよう。

また、商業系用途地域に存在する地区は、町並み景観形成評価因子の値が高い地区が多く見られ、その中でも、面的な計画や景観形成に関わる地区指定などが指定されている地区が、因子得点上位を占める結果になった。しかし、これらの地区は、登録有形文化財を含んだ全体的な町並み景観としては評価されているが、地区内での登録有形文化財の町並みに対する寄与の仕方については明らかでない。登録有形文化財を含めた地区環境を一体的に整備するためには、町並み景観形成への関わり方を明らかにしていく必要がある。

今後は、本稿で町並み景観形成評価因子の値が高かった地区を中心に、それらの地区内で登録有形文化財が町並みに固有性を与え、どのように寄与しているかを明らかにする。

<参考文献・URL>

- 1) 文化庁、-文化財登録制度のご案内-、1996
- 2) 文化庁文化財部建造物課 編、「登録有形文化財建造物目録」、2003.3
- 3) 坪井善道：「戸建住宅地の景観分析と景観形成手法に関する研究」、1995、4
- 4) 三原季晋、坪井善道、染谷佐登子：「都市計画的見地からの歴史的建築物の保存・再生に関する研究」、平成14年度修士学位論文、2003、3
- 5) 不破徹、坪井善道：「登録有形文化財の立地特性と保存・再生利用に関する研究—大規模建築物の保存・再生利用手法を中心として—」、平成15年度修士学位論文、2004、3
- 6) 津久井隆行、坪井善道：「京都の歴史的町並みの形成に関わる建築物の形態と景観評価との関わりについて—建築物形態の混在の状態と景観評価との関わりについて—」、平成15年度修士学位論文、2004、3
- 7) 日本近代建築館：
<http://www.jmam.net/d/kindai.htm>